

基本的な用語や考え方から、
企業における取組の方向性・課題・解決のアプローチなどを解説！

費用対効果評価(日本版HTA)の基礎と実践

- ◆日時: 2019年10月29日(火) 13:00~16:30
- ◆会場: 商工情報センター 9F 第2研修室
- ◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)——

⇒1名につき36,300円(税込、資料付き)
2名同時申し込みの場合、1名につき22,000円(税込)

講師からの紹介割引について

本パンフレットは講師用のパンフレットです。このパンフレットでセミナーをお申込みいただくと、講師からのご紹介により左記のとおり受講料が割引になります。なお他の割引との併用はできません。

●講師: クレコンメディカルアセスメント(株)取締役最高業務責任者(COO) 工学修士、医学博士 小林 慎 氏

【ご専門】薬剤経済学、医療経済学、統計解析

【ご略歴】国際医薬経済・アウトカム研究学会(ISPOR)日本部会 理事・事務局長 DPCマネジメント研究会 理事
日本経済大学大学院ファーマシーマネジメント研究所 特任教授 多摩大学医療・介護ソリューション研究所 シニアフェロー
東海病院管理学研究会世話人

2019年4月から、いよいよ医薬品や医療機器に対する費用対効果評価(日本版HTA)が本格導入されました。高価格獲得を目指す製薬・医療機器企業にとって、今後、費用対効果評価の知識は必須のものとなります。本講演では、費用対効果評価の基本的な用語や考え方から、本格導入の仕組み、企業における取組の方向性・課題・解決のアプローチなど、費用対効果評価の本格導入において企業が検討すべきテーマを幅広く網羅します。

1. 費用対効果評価の基本知識

- (ア) QALYとICER
- (イ) モデルと感度分析

2. 費用対効果評価制度(日本版HTA)の仕組み

- (ア) 日本版HTAの概要
 - (1) 歴史的経緯
 - (2) 選定基準
 - (3) 価格調整方法
 - (4) 選定から評価までの流れ

(イ) 分析ガイドライン

- (1) 各項目の基本的考え方
- (2) 実務における重要ポイント

3. 日本版HTAに向けた取組のポイント

- (ア) 日本版HTAの最重要ポイントは？
- (イ) 分析前協議の重要性
- (ウ) オープンや医療機器の評価
- (エ) プロモーションにおける利用可能性
- (オ) 人材育成と体制作り
- (カ) その他

【質疑応答・名刺交換】

(講師紹介割引)『費用対効果』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>